

赤ちゃん誕生から生まれた

Aprica

BELT-FIT COLAN

(ベルトフィット コラン)

取扱説明書／保証書

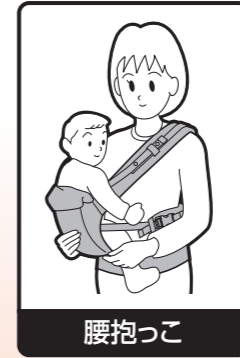
このたびは、アップリカ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
首がすわってから体重15kgまでのお子さま1人用子守帯です。



タテ抱っこ



おんぶ



腰抱っこ

ご使用の前に、本書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
取扱説明書に記載されている以外の方法で使用しないでください。
製品の機能が充分発揮できないだけでなく大変危険です。
お読みになった後は、本書は必ず保管していただき、必要に応じてお読みください。

もくじ

ご使用前に

安全にお使いいただくために	2
ご使用上の注意	3
製品を取り出した時に	5
バックルの使い方	5
よだれパッドの使い方	5
各部の調節方法	6

タテ抱っこ（首がすわってから 体重13kgまで）

タテ抱っこの準備	7
タテ抱っこの装着方法	7
タテ抱っこのチェック	9
おやすみカーテン	10
おんぶハーネス	10

おんぶ（首がすわってから 体重15kgまで）

おんぶの準備	11
おんぶの装着方法	11
抱っこからおんぶへ	13
おんぶのチェック	15
おやすみカーテン	15
月齢が小さい時	16
おんぶの降ろし方	16

腰抱っこ（ひとり座りができてから 体重13kgまで）

腰抱っこの装着方法	17
腰抱っこのチェック	19

その他

子守帯の折りたたみ方	19
お手入れについて	21
アフターサービスについての連絡先	21
SGマークについて	22
保証書	裏表紙

アップリカ・チルドレンズプロダクツ株式会社




本社／大阪店：〒542-0082 大阪市中央区島之内1-13-13 東京銀座店：〒104-0061 東京都中央区銀座2-6-12

子守帯について

- ・この製品は、お子さまを抱っこやおんぶして、外気浴、買い物のときなどに使用するための1人用子守帯です。ご使用前にP5「各部の名称」をご確認ください。

表示内容について

- ・「警告」、「注意」、「禁止」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度の大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。

表示	表示の内容
 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。
 禁止	製品の取り扱い禁止の行為です。絶対してはいけません。

使用できるお子さまの月齢について

- ・お子さまの発育は個人差がありますので月齢表示は目安にしてください。

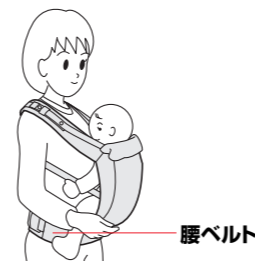
参考月齢	0カ月	首すわり(4カ月頃)	ひとり座り(7カ月頃)	24カ月頃	36カ月頃	体重
タテ抱っこ		首がすわってから(24カ月頃まで)				13kgまで
腰抱っこ			ひとり座りができてから(24カ月頃まで)			13kgまで
おんぶ		首がすわってから(36カ月頃まで)				15kgまで

- ・お子さまの衣類の厚みや体格によっては使用できない場合があります。

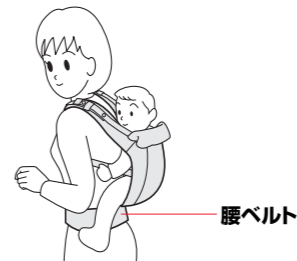
安全にお使いいただくために

- ・ご使用の際は、バックルを必ずとめてください。とめないで使用するとお子さまが落下し思わぬ事故やけがをされるおそれがあります。
- ・ベルトの長さを装着者の身体にあわせて、きつめに調節してください。お子さまと装着者の間にすき間がありすぎたり、左右のベルトの長さが違うと、お子さまの予期せぬ動きに対応できず、落下しけがをされるおそれがあります。

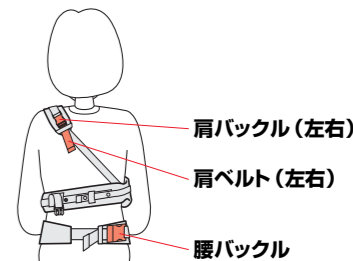
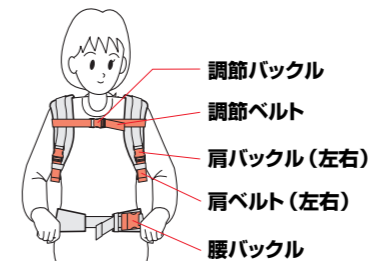
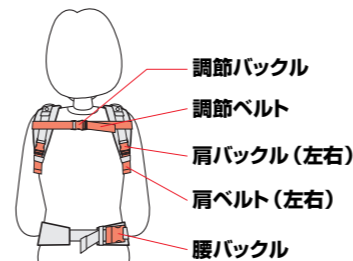
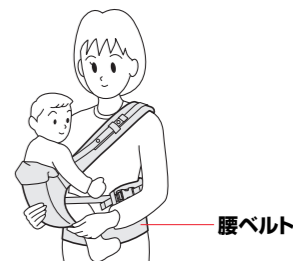
タテ抱っこ



おんぶ



腰抱っこ



- ・腰ベルトサイズ：74cm～118cm。
- ・体型によって冬場など厚着の時には使用できない場合があります。

ご使用上の注意

ここに記載した内容は非常に重要です。よくお読みになり、必ず守ってください。

警告 ・誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

肩バックル、腰バックル、調節バックルを外した状態で使用しない。お子さまが落下し、けがをするおそれがあります。



肩ベルト、腰ベルト、調節ベルトは必ず調節し、緩めた状態で使用しない。お子さまが落下し、けがをするおそれがあります。



走ったり、跳んだり、前かがみなどの無理な姿勢をとらない。お子さまが落下し、けがをするおそれがあります。



首のすわらない、お子さまに使用しない。お子さまが体調を損なうおそれがあります。



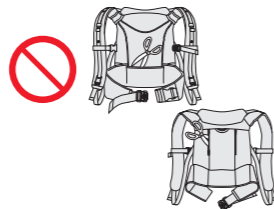
タテ抱っこ、腰抱っこでは、**体重13kg**を超えるお子さまに使用しない。お子さまが落下し、けがをするおそれがあります。



おんぶでは、**体重15kg**を超えるお子さまに使用しない。お子さまが落下し、けがをするおそれがあります。



ポケットにとがったものを入れない。お子さまが、けがをするおそれがあります。

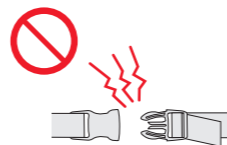


授乳後30分以内や、連続2時間以上使用しない。お子さま、使用者が体調を損なうおそれがあります。



注意 ・誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

バックルの開口部にお子さまの手指を入れない。



バックルなどの部品の破損につながる過度な力を加えない。



火気の取り扱い中や、ストーブなど火の近くに放置しない。



直射日光のあたる場所に保管しない。変色や劣化が早まります。



・お子さまの状態に注意しながら使用する。気道をふさぐことがないよう注意する。

・タテ抱っこ、腰抱っこでは足元が見えにくくなる場合がありますので歩行には充分注意してください。

禁止 ・次のような使用は絶対しないでください。

ベルトの先端の返し縫い部をほどいたり、切り落とした後の使用。



バックルなどの部品が破損したり、ベルトや生地などに破れ、ほつれ、きずがある状態での使用。



屋外に放置し、雨などにさらした後の使用。



電車、バス以外の乗り物での使用。



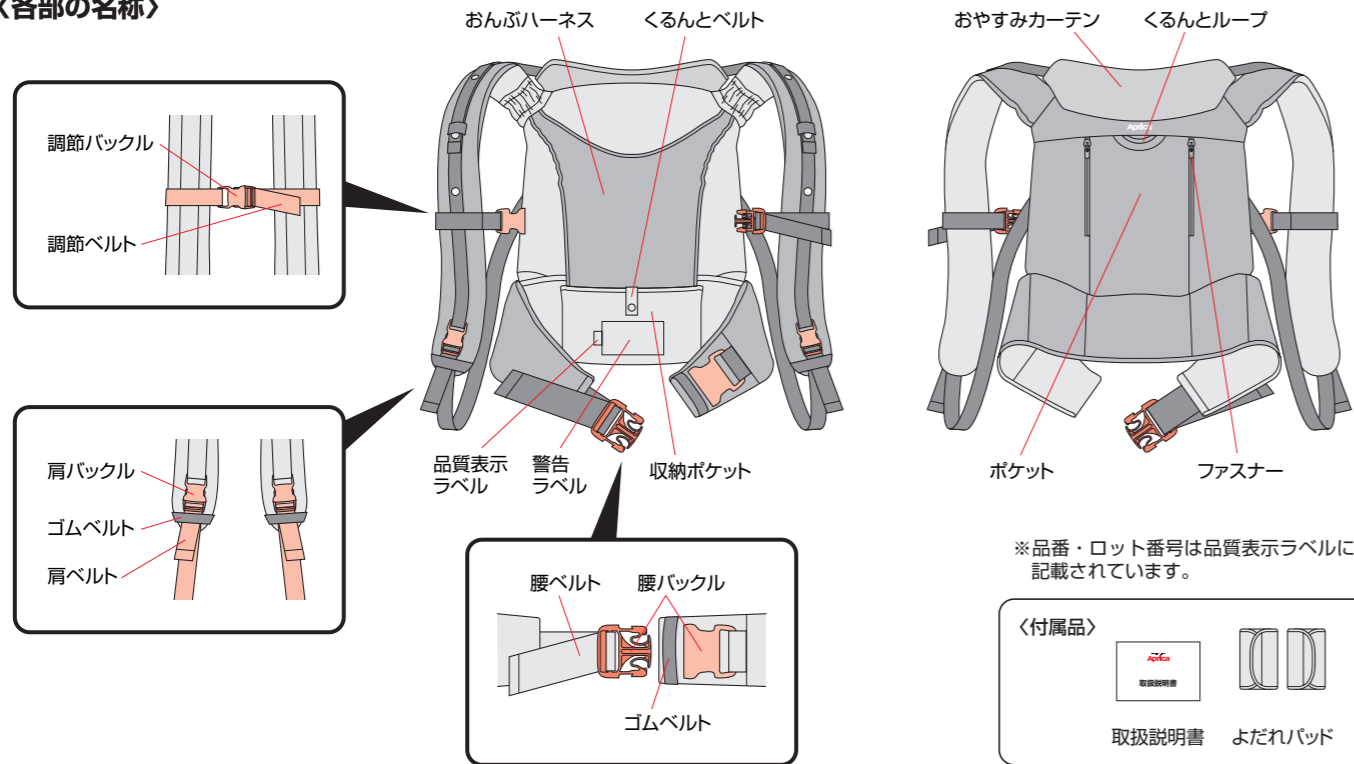
その他、荷物などの運搬や、お子さまを抱っこ、おんぶする以外の目的での使用。



製品を取り出した時に

- ・製品を取り出した後は、部品が揃っているか、破損がないかを確認してください。
- ・欠品や破損の際は、お買い上げの販売店または弊社お客様サポートセンターまですみやかにご連絡ください。

〈各部の名称〉



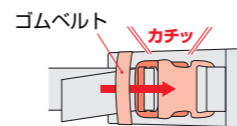
バックルの使い方

- ・バックルを必ずとめてください。
とめないで使用するとお子さまが落下し思わぬ事故やけがを
おそれがあります。

〈腰バックル・肩バックル〉

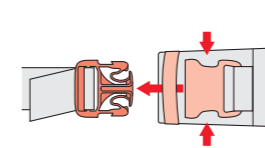
取り付け方

- 腰バックルをゴムベルトに通し、腰バックルをとめる。



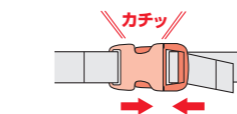
取り外し方

- 腰バックルを外し、腰バックルをゴムベルトから抜き取る。

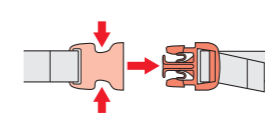


〈調節バックル〉

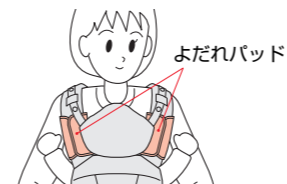
取り付け方



取り外し方



よだれパッドの使い方



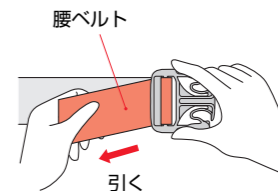
- 肩ベルトに巻き付け、面ファスナーでとめる。
(折り返しが、お子さまの顔の外側に
向くようにする。)

各部の調節方法

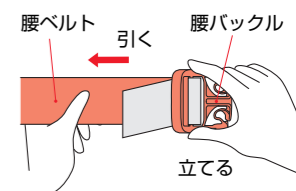
- ・ベルトの長さを装着者の身体にあわせてきつめに調節してください。
お子さまと装着者の間にすき間がありすぎたり、左右のベルトの
長さが違うと、お子さまの予期せぬ動きに対応できず、落下し
思わぬ事故やけがをされるおそれがあります。

〈腰ベルト・肩ベルト〉

短くする時

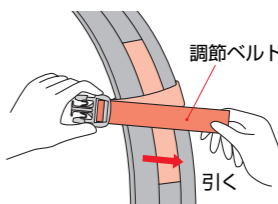


長くする時

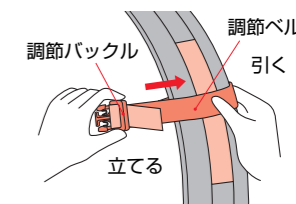


〈調節ベルト〉

短くする時



長くする時

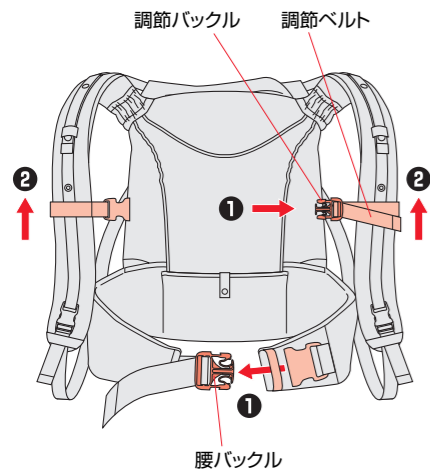


タテ抱っこの準備

- ①腰バックルと調節バックルを外す。
- ②調節ベルトを上にはずらす。

アドバイス

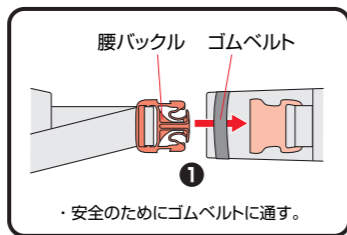
・調節ベルトを上にはずらすと、5.①首の後ろで調節バックルがとめやすくなります。



タテ抱っこの装着方法

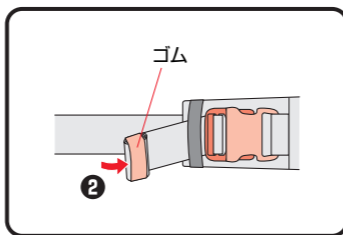
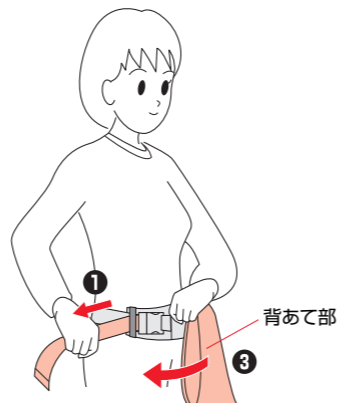
1 腰バックルをとめる

- ①腰バックルをゴムベルトに通す。
- ②腰バックルをとめる。



2 腰ベルトを調節する

- ①腰ベルトを調節する。
- ②あまったベルトをゴムでまとめる。
- ③背あて部を正面にする。



3 お子さまを子守帯に乗せる

- ①お子さまを抱き上げ、子守帯に乗せる。

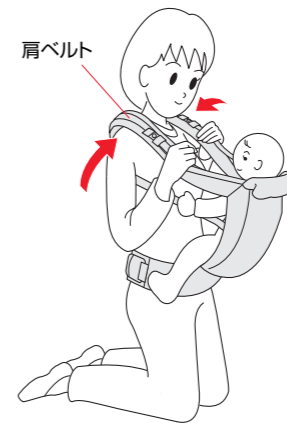


警告

・お子さまを乗せる時は、必ず安全な場所で行う。
不安定な場所では、お子さまが落下するおそれがあります。

4 肩ベルトをかける

- ①左右の肩ベルトをかける。

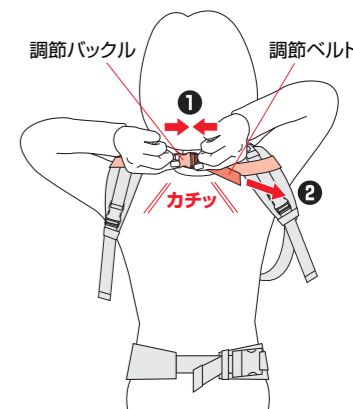


アドバイス

・お子さまの腕は、肩ベルトの外側でも内側でも構いません。
外側に出している時に、お子さまが振り返る場合は、肩ベルトの内側に腕を入れてください。

5 調節バックルをとめる

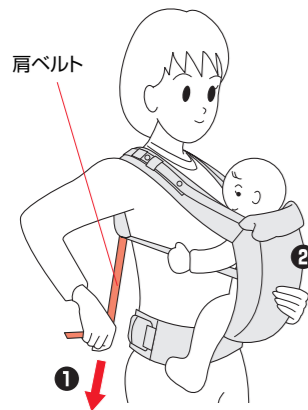
- ①首の後ろで調節バックルをとめる。
- ②調節ベルトを調節する。



タテ抱っこの装着方法

6 肩ベルトを調節する

- ①左右の肩ベルトを調節する。
- ②お子さまの位置を調べて完成。



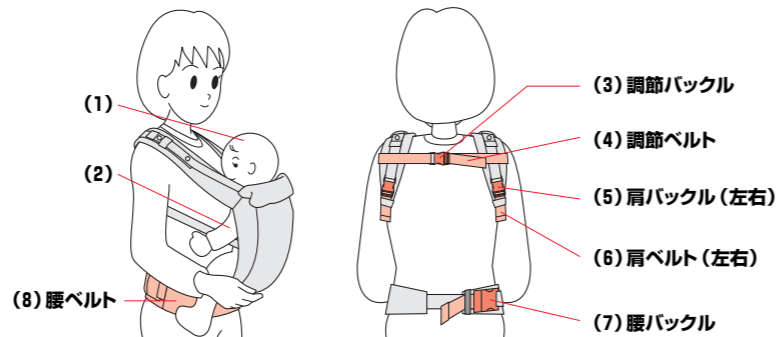
アドバイス

- ・肩や腰に負担がかかる場合は肩ベルト、腰ベルトを調節しなおしてください。
- ・取り付け後、タテ抱っこのチェックを必ず確認してください。

タテ抱っこのチェック

・鏡などに姿を映して、抱っこの状態を確認してください。

- | | |
|----------------------------|---------------------|
| (1) お子さまの頭部が装着者の視界の妨げにならない | (5) 肩バックルが確実にとまっている |
| (2) お子さまの両腕が出ている | (6) 肩ベルトを調節している |
| (3) 調節バックルが確実にとまっている | (7) 腰バックルが確実にとまっている |
| (4) 調節ベルトを調節している | (8) 腰ベルトを調節している |



- ・お子さまを手で支えて使用してください。
- ・正しくできていない場合は、もう一度取り付け、調節を行ってください。



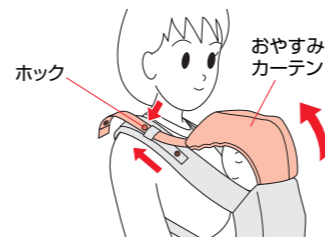
警告 ・チェックポイントを守らないと、お子さまが落下するおそれがあります。

おやすみカーテン

・お子さまが寝た時などに使用すると首が安定します。

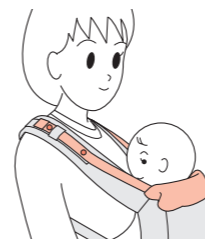
＜使用する時＞

- ①左右のフックを外す。
- ②おやすみカーテンをかぶせ、引っ張って左右のフックをとめる。



注意 ・おやすみカーテンを使用する際は、特にお子さまの様子に注意してください。

＜使用しない時＞



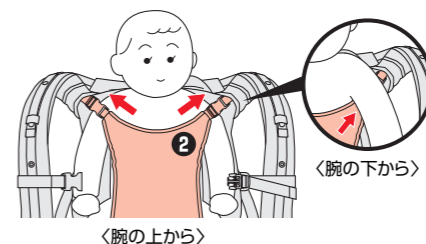
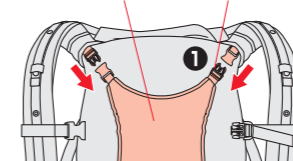
おんぶハーネス

・タテ抱っこ時、おんぶハーネスを使用できます。使用すると、お子さまがより安定します。
・使用しない時は、収納することができます。

＜使用する時＞

- ①おんぶハーネスのバックルを外す。
- ②お子さまを乗せて、おんぶハーネスのバックルをとめる。

おんぶハーネス バックル

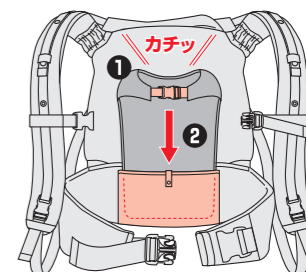


アドバイス

- ・お子さまの成長に合わせて、おんぶハーネスのバックルを腕の上から又は、腕の下からとめる。
- ・タテ抱っこ時、おんぶハーネスを使用すると「抱っこからおんぶへ」の切替がより安定してできます。

＜収納する時＞

- ①左右のバックルをとめる。
- ②折りたたんで収納する。

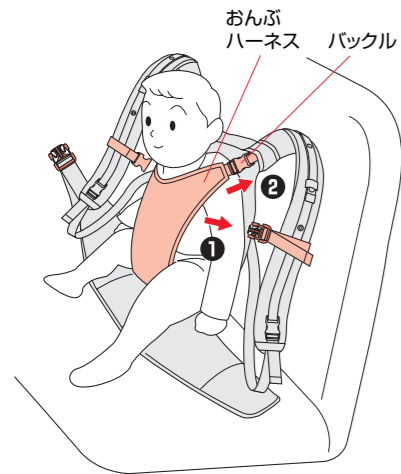


おんぶの準備

- ①腰バックルと調節バックルを外す。
- ②お子さまを乗せて、おんぶハーネスのバックルをとめる。

アドバイス

- ・お子さまの成長に合わせて、おんぶハーネスのバックルを腕の上から又は、腕の下からとめる。
- ・おんぶの時は、おんぶハーネスをご使用すると、より安全にお子さまをおんぶできます。



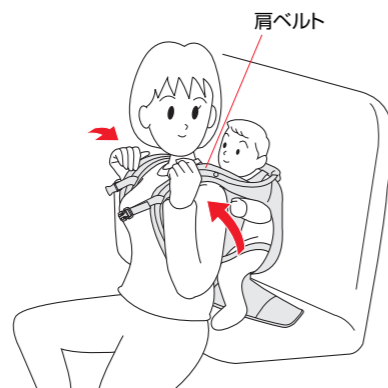
警告

- ・お子さまを乗せる時は、必ず安全な場所で行う。特に、ひとり座りができる前のお子さまをおんぶする際には他の人に手伝ってもらいより安全です。
- ・不安定な場所では、お子さまが落下するおそれがあります。

おんぶの装着方法

1 肩ベルトをかける

- ①左右の肩ベルトをかける。



アドバイス

- ・おんぶの時は約30分ごとに、お子さまの様子を確認してください。

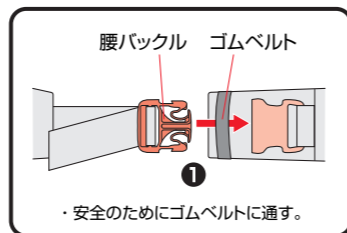
2 腰バックルをとめる

- ①腰バックルをゴムベルトに通す。
- ②腰バックルをとめる。



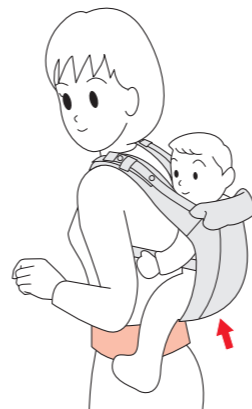
注意

- ・お子さまの足が腰ベルトの下にこないように注意してください。



3 お子さまの位置を調える

- ①お子さまのお尻の位置が腰ベルトより高くなるように調える。

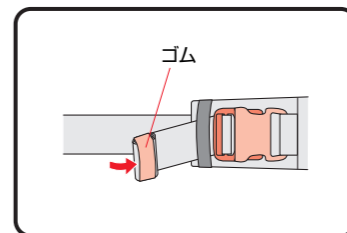
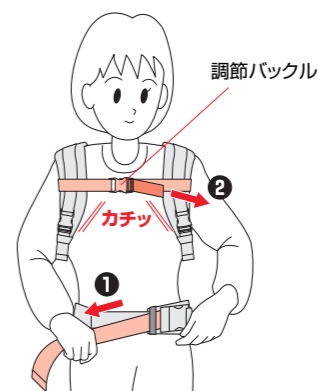


アドバイス

- ・お子さまが装着者の腰に安定する位置にする。

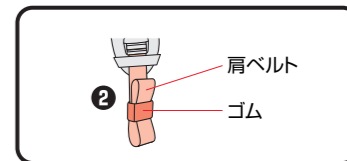
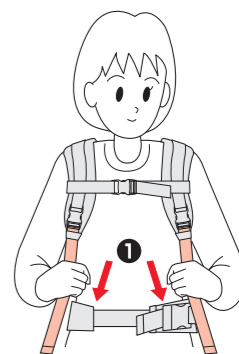
4 腰ベルトを調節して調節バックルをとめる

- ①腰ベルトを調節して、あまったベルトをゴムでまとめる。
- ②調節バックルをとめ、調節ベルトを調節する。



5 肩ベルトを調節する

- ①左右の肩ベルトを調節する。
- ②ベルトをゴムでまとめて完成。

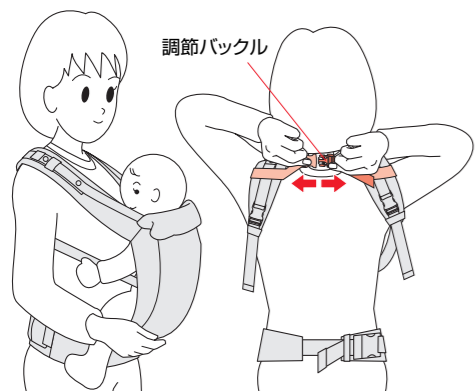


アドバイス

- ・肩や腰に負担がかかる場合は肩ベルト、腰ベルトを調節しなおしてください。
- ・取り付け後、P15. おんぶのチェックを必ず確認してください。

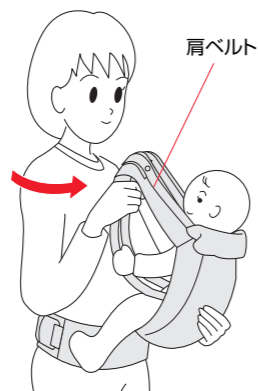
1 調節バックルを外す

- ① タテ抱っこの状態で調節バックルを外す。



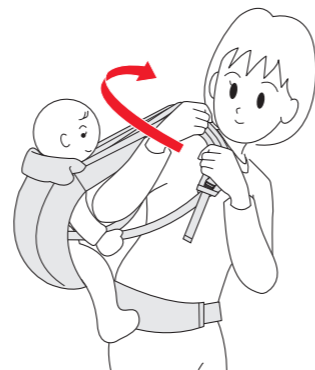
2 肩ベルトを外す

- ① 左右の肩ベルトを肩から外し、まとめる。



3 子守帯を背中側にまわす

- ① 肩ベルトをしっかり持ち、お子さまを支えて背中側にまわす。

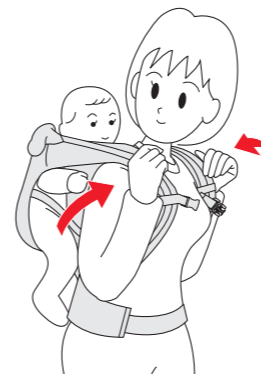


警告

・抱っこからおんぶへ変える時は、必ず安全な場所で行う。
他の人に手伝ってもらったほうがより安全です。
不安定な場所では、お子さまが落下するおそれがあります。

4 肩ベルトをかける

- ① 左右の肩ベルトをかける。

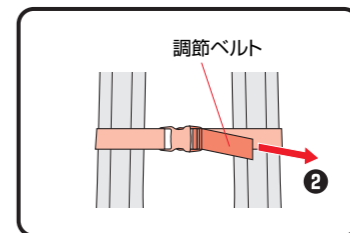
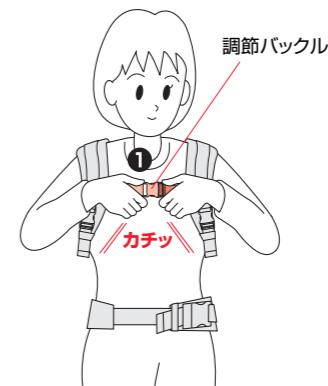


アドバイス

・おんぶの時は約30分ごとに、お子さまの様子を確認してください。

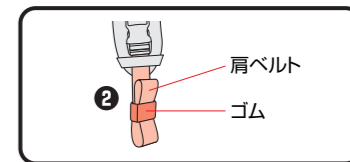
5 調節バックルをとめる

- ① 調節バックルをとめる。
- ② 調節ベルトを調節する。



6 肩ベルトを調節する

- ① 左右の肩ベルトを調節して完成。



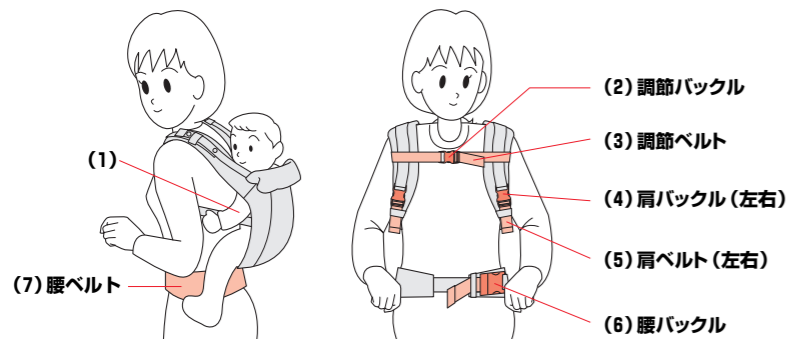
アドバイス

・肩や腰に負担がかかる場合は肩ベルト、腰ベルトを調節しなおしてください。
・取り付け後、P15. おんぶのチェックを必ず確認してください。

おんぶのチェック

・鏡などに姿を映して、おんぶの状態を確認してください。

- (1) お子さまの両腕が出ている
- (2) 調節バックルが確実にとまっている
- (3) 調節ベルトを調節している
- (4) 肩バックルが確実にとまっている
- (5) 肩ベルトを調節している
- (6) 腰バックルが確実にとまっている
- (7) 腰ベルトを調節している



- ・装着者が痛みや不快を感じた場合は使用を中止してください。特に、授乳期のお母さまは、乳房を圧迫するおそれがあります。
- ・装着者からお子さまの顔が見えませんが、約30分ごとにお子さまの様子を確認してください。
- ・正しくできていない場合は、もう一度取り付け、調節を行ってください。

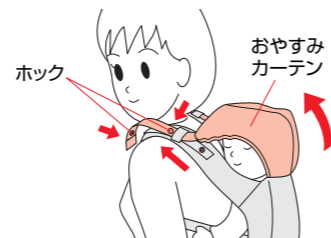
警告 ・チェックポイントを守らないと、お子さまが落下するおそれがあります。

おやすみカーテン

・お子さまが寝た時などに使用すると首が安定します。

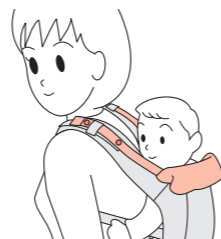
〈使用する時〉

- ① 左右のホックを外す。
- ② おやすみカーテンをかぶせ、引っ張って左右のホックをとめる。



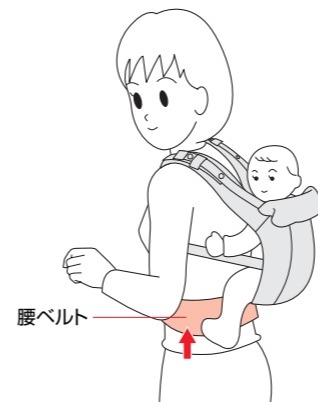
注意 ・おやすみカーテンを使用する際は、特にお子さまの様子に注意してください。

〈使用しない時〉



月齢が小さい時

・お子さまの月齢が小さいうちは、腰ベルトを高い位置でとめると、より安定します。



おんぶの降ろし方

1 バックルを外す

- ① 調節バックルを外す。
- ② お子さまをゆっくり降ろす。
- ③ 肩ベルトを外す。

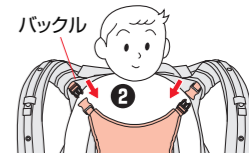
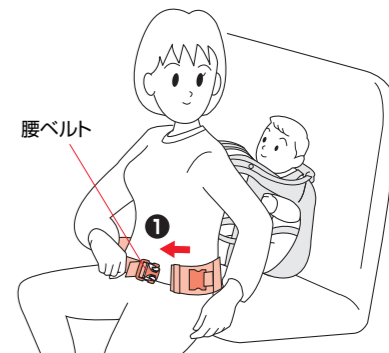


警告

・お子さまを降ろす時は、必ず安全な場所で行う。他の人に手伝ってもらったより安全です。不安定な場所では、お子さまが落下するおそれがあります。

2 お子さまを降ろす

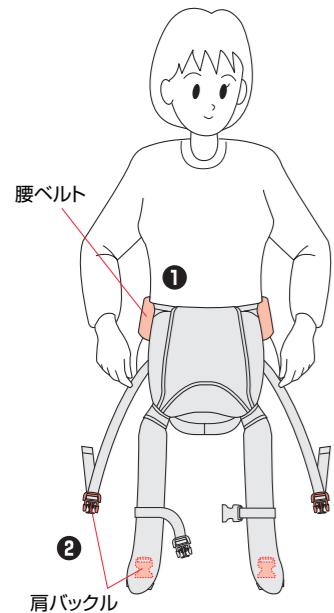
- ① お子さまを降ろし、腰ベルトを外す。
- ② おんぶハーネスのバックルを外す。



腰抱っこの装着方法 ・右抱っこ、左抱っこ、どちらでも使用できます。ここでは、右抱っこで説明しています。

1 肩バックルを外す

- ①P7「タテ抱っこの装着方法」の1,2を参照して腰ベルトをとめる。
- ②左右の肩バックルを外す。



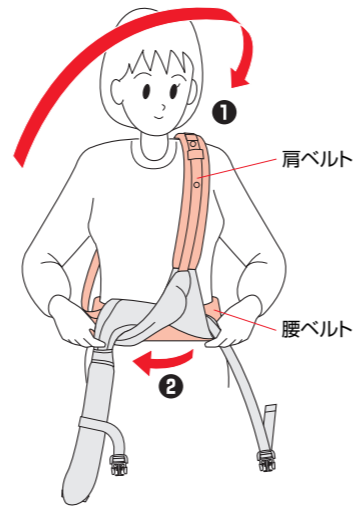
2 肩バックルをとめる

- ①右側の肩バックルを左側のゴムベルトに通し、バックルをとめる。



3 肩ベルトをななめにかける

- ①右腕と頭を通し、肩ベルトをななめにかける。
- ②腰ベルトを右側にまわす。



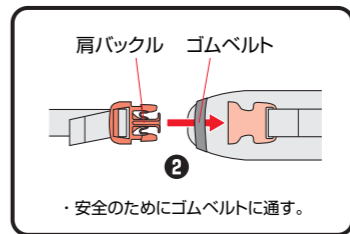
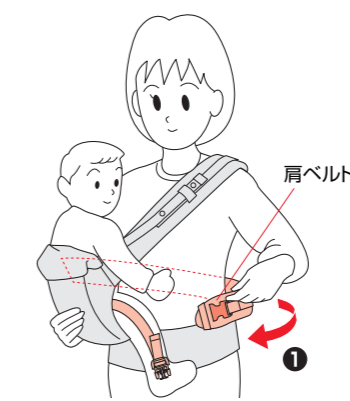
4 お子さまを乗せる

- ①お子さまを抱き上げて、子守帯に乗せる。
- ②右側の肩ベルトを腰にまわす。



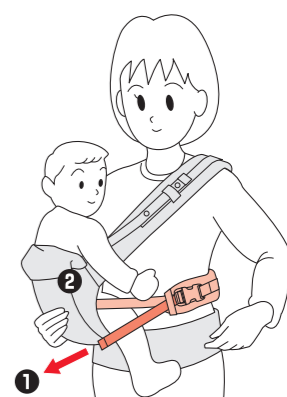
5 肩ベルトをとめる

- ①腰にまわした肩ベルトを左側から出す。
- ②肩バックルをゴムベルトに通し、バックルをとめる。



6 肩ベルトを調節する

- ①肩ベルトを調節する。
- ②お子さまの位置を調べて完成。



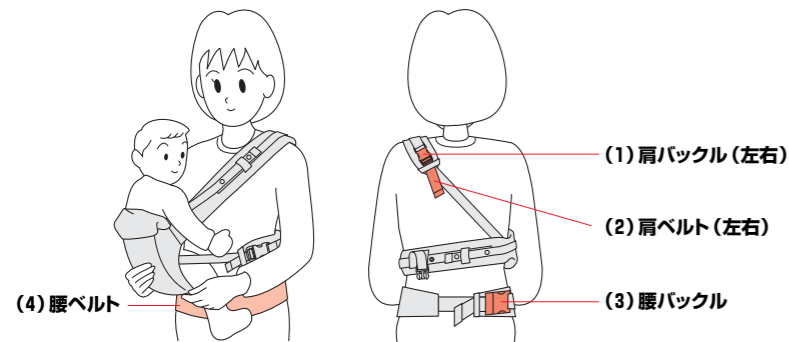
アドバイス

- ・肩や腰に負担がかかる場合は肩ベルト、腰ベルトを調節しなおしてください。
- ・取り付け後、P19. 腰抱っこのチェックを必ず確認してください。

腰抱っこのチェック

・鏡などに姿を映して、抱っこの状態を確認してください。

- (1) 肩バックルが確実にとまっている
- (2) 肩ベルトを調節している
- (3) 腰バックルが確実にとまっている
- (4) 腰ベルトを調節している



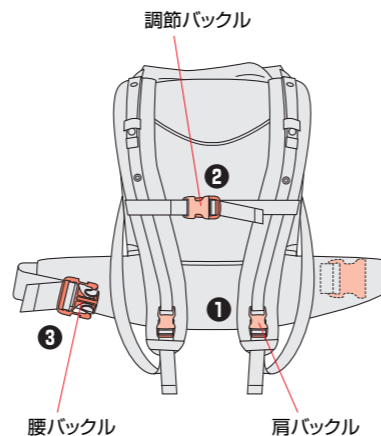
- ・お子さまを手で支えて使用してください。
- ・正しくできていない場合は、もう一度取り付け、調節を行ってください。

警告 ・チェックポイントを守らないと、お子さまが落下するおそれがあります。

子守帯の折りたたみ方

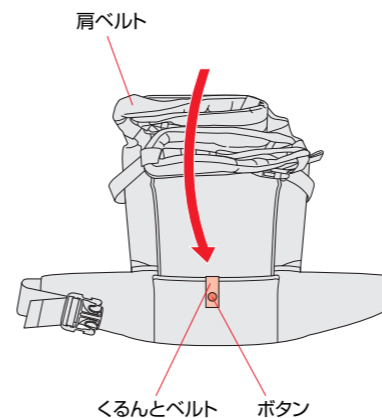
1 子守帯をひろげる

- ① 肩バックルをとめる。
- ② 調節バックルをとめる。
- ③ 腰バックルを外して、子守帯を広げる。



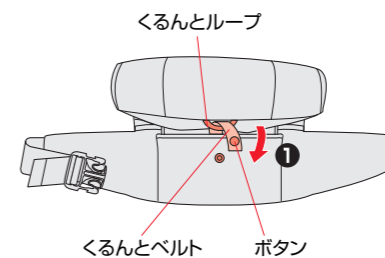
2 肩ベルトをまとめて、折りたたむ

- ① 左右の肩ベルトをまとめて、折りたたむ。

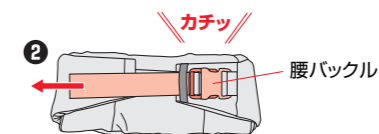


3 くるんとベルトをとめる

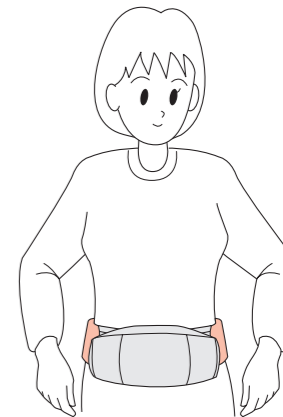
- ① くるんとループにくるんとベルトを通し、ボタンをとめる。
- ② 腰バックルをとめて、腰ベルトを調節する。



〈折りたたむ時〉



・下図のように、腰ベルトを着用したままでもご使用いただけます。



お手入れについて

〈お願い〉

- ・子守帯本体については洗濯機、脱水機、乾燥機は使用しないでください。**バックルなどの破損につながるおそれがあります。**

〈軽度の汚れの場合〉

- ・湿らせた布でたたいて落としてください。その後、形を整え日陰で平干ししてください。

〈子守帯本体を洗濯される場合〉



- ・蛍光剤入りの洗剤を使用すると、移染することがありますので、使用しないでください。
- ・色落ちするおそれがありますから、他の物とは別に洗濯してください。
- ・子守帯本体は30℃以下の水で押し洗いし、よだれパッドは40℃以下の水で洗濯し、形を整えて干してください。
- ・漬け置きしないでください。
- ・洗濯後、充分乾燥させて使用してください。乾燥が不十分な場合、カビなどが発生する可能性があります。
- ・漂白剤を使用しないでください。

〈よだれパッドを洗濯される場合〉



アフターサービスについての連絡先

アップリカ・チルドレンズプロダクツ株式会社

〈電話連絡先〉

お客様サポートセンター TEL **0120-415-814**

携帯電話からご利用の場合（通話料お客様負担）TEL **0570-004-155**

受付時間：AM10：00～PM5：00（土、日、祝日、弊社所定休日を除く）

〈製品をお送りいただく場合のみの宛先〉

〒632-0231

奈良県奈良市都祁吐山町2364-5
アップリカ 奈良サービスセンター ☎(06)4300-4949

SGマークについて



SGマーク付き製品は安全性が高く、安心してお使いいただけるものですが、製品安全協会では損害保険会社と生産物賠償責任保険の契約を結んでおり、SGマーク付き製品の欠陥により、人身被害が生じたと認められる場合、事故原因、被害の程度などに応じて、賠償措置を実施します。

ただし、子守帯の場合、ご購入後3年以内の製品が対象となります。

賠償についてのご注意

SGマーク被害者救済制度は、SGマーク付き製品の欠陥によって傷害などの身体的な損害（人的損害）について賠償する制度です。この制度は、SGマーク付き製品そのものが故障した場合に補償するものではなく、また、SGマーク付き製品の欠陥によって他の物に生じた損害（物的損害）を賠償するものではありません。

製品の欠陥によって事故が起きた場合

事故が起きたら、すぐに製品安全協会へ連絡してください。

連絡後、製品安全協会から送付されてくる事故発生届等を提出していただけます。（原則として60日以内）

製品安全協会 〒110-0012 東京都台東区竜泉2-20-2 ミサワホームズ三ノ輪2階
TEL 03-5808-3300

〈事故の届出に必要な項目〉

- ①事故の原因となったSGマーク表示の製品
イ) 製品の名前、SGマーク番号 ロ) 製品の購入先、購入年月
- ②事故発生の状況
イ) 事故発生年月日 ロ) 事故発生場所 ハ) 事故発生状況
- ③被害の状況
イ) 被害者の氏名、年令、性別、職業、住所 ロ) 被害の状況と程度